

令和3年6月2日
総務省行政管理局公共サービス改革推進室

民間競争入札実施事業
「非現業技術業務委託（新横浜）」の評価について（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号）第7条第8項の規定に基づく標記事業の評価は以下のとおりである。

記

I 事業の概要等

事項	内容
実施行政機関等	国土交通省／独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
現行事業名	令和2～3年度関東甲信工事局発注者支援業務（新横浜）
事業概要	関東甲信工事局における発注者（以下、「関東甲信工事局長」という。）の工事発注にかかる補助業務、工事及び役務の履行に係る補助業務、地元及び関係機関との協議、調整に係る補助業務。
実施期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日（市場化テスト第1期目）
受託事業者	㈱プラネットコンサルタント
契約金額（税抜）	97,000,000円（単年度当たり：48,500,000円）
入札の状況	1者応札（当初仕様書取得者＝10者）
事業の目的	関東甲信工事局長の業務を支援し、その円滑な履行を図ることを目的とする。
選定の経緯	平成30年度の「公共サービス改革基本方針」及び「平成30年度 事業選定方針及びプロセスについて」に沿って、行政事業レビュー等の公表資料において競争性等に問題があると思われる契約のうち、民間競争入札の導入により競争性等の改善が見込まれる事業について、各府省等へ市場化テストの実施を呼びかけた結果、自主選定となったもの。

II 評価

1 概要

市場化テストを継続することが適当である。競争性の確保及び経費削減効果に課題が認められ、改善が必要である。

2 検討

(1) 評価方法について

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（以下、「機構」という。）から提出

された令和2年4月1日から令和3年3月31日までの実施状況についての報告（別添）に基づき、サービスの質の確保、実施経費及びその前提としての競争性等の観点から評価を行う。

(2) 対象公共サービスの実施内容に関する評価

事 項	内 容	
確保されるべき 質の達成状況	以下のとおり、概ね適切に履行されている。	
	確保されるべき水準	評価
	以下の業務を適切に実施すること。 ・ 工事発注にかかる補助業務 ・ 工事及び役務の履行に係る補助業務 ・ 地元及び関係機関との協議・調整に係る補助業務 ・ 役務、工事受注者又は外部から通知等を受けた場合は、速やかに発注者にその内容を正確に伝えること	【適】 業務打合せ記録簿及び業務実施報告書による月ごとの実施業務内容を確認したところ、工事発注に係る業務、役務及び工事の履行に係る業務、関係機関との協議・調整に係る業務について、適切に実施されており、満足のいく成果物が提出されている。
	年に2回、監督員に対する満足度についてのアンケートにて、基準スコア（100点満点中75点以上）を維持すること。	
	・ 主任技術者に依頼してから、依頼完了までに要した期間	【適】 令和2年度：平均75.0点
	・ 主任技術者の成果物に対する説明のわかりやすさ	【不適】 令和2年度：平均70.0点
	・ 主任技術者から受けた成果物の正確性	【適】 令和2年度：平均75.0点
・ 主任技術者の対応（言葉遣い、親切さ、丁寧さ等）	【不適】 令和2年度：平均70.0点	
民間事業者からの改善提案	特になし。	

(3) 実施経費（税抜）

実施経費は、従来経費と比較して約22.3%（単年度換算13,900,000円）減少している。しかしながら、従来業務からの発注業務量の減少を考慮すると削減効果があったと言うことは難しい。すなわち、実施経費から業務量が減少したことによる経費の減額分を控除して、従来経費と比較すると、単年度換算で1,562,000円の(3.3%)増加となっている。

いる。

(A) 従来経費	124,800,000 円
(B) 実施経費	97,000,000 円
(C) 業務量の減少による減額分	▲30,924,000 円
(D) 実施経費から減額分を控除 (B-C)	127,924,000 円 = (B) 97,000,000 円 - (C) ▲30,924,000 円
増減額(D-A)	3,124,000 円増額 (単年度換算：1,562,000 円増額) = (D) 127,924,000 円 - (A) 124,800,000 円
増減率	3.3%増

(4) 選定の際の課題に対応する改善

課題	競争性に課題が認められたところ、契約方式に総合評価落札方式を採用し、公告時期の前倒し等を実施したが、結果1者応札するに至り、課題が残った。
----	---

(5) 評価のまとめ

業務の実施にあたり、確保されるべき達成目標として設定された質については、一部基準を下回る内容があったものの、概ね適切に履行されていると評価できる。

一方、経費削減効果について、従来経費から発注業務量が減少したことによる減額分を考慮すると、経費削減効果があったと言うことは困難であり、その点について課題が認められた。

(6) 今後の方針

以上のとおり、競争性の確保及び経費削減効果において課題が認められ、本事業において良好な実施結果が得られたと評価することは困難である。

そのため次期事業（第2期事業）においては、業務従事者に関する要件緩和等、両課題について検討を加えた上で、引き続き市場化テストを実施することにより、民間事業者の創意工夫を活用した公共サービスの質の維持向上及び経費の削減を図っていく必要があるものとする。

令和3年5月21日

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

民間競争入札実施事業

「非現業技術業務委託（新横浜）」の実施状況について

1 事業の概要

公共サービス改革基本方針（令和元年7月9日閣議決定）別表において民間競争入札の対象として選定された「非現業技術業務委託（新横浜）」については、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号。以下「公共サービス改革法」という。）の規定に基づき、令和2年度から民間競争入札により「令和2～3年度 関東甲信工事事務局発注者支援業務（新横浜）」として実施している。

（1）業務内容

本業務は、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（以下「当機構」という。）関東甲信工事事務局における発注者（関東甲信工事事務局長をいう。以下同じ。）の業務を支援し、その円滑な履行を図ることを目的とし、以下に掲げる内容を行うものである。

- 1) 工事発注にかかる補助業務
- 2) 工事及び役務の受注者等から提出された資料の収集・整理等の補助業務
- 3) 発注者が行う関係機関（国、地方自治体、道路管理者、河川管理者）との協議・調整に要する資料の収集・整理・作成、協議打合せ簿の作成等の補助業務
- 4) その他

上記各条項において工事及び役務契約上重大な事案等が発見された場合は、遅滞なく報告する。

（2）契約期間

令和2年4月1日から令和4年3月31日（2年間）

（3）契約の相手方

株式会社プラネット・コンサルタント

（4）実施状況評価期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

（5）契約者決定の経緯

「令和 2～3 年度関東甲信工局発注者支援業務（新横浜）民間競争入札実施要項」に基づき、入札参加者（1 者）から提出された技術資料について、技術評価点を審査した。入札価格については、令和 2 年 3 月 2 日に開札した結果、1 者が予定価格の範囲内であったことから、この 1 者について総合評価を行い落札者とした。

2 確保されるべきサービスの質の達成状況及び評価

(1) 民間競争入札実施要項において定めた民間事業者が確保すべきサービスの質の達成状況については、以下の通り。

評価事項	測定指標	評価
(1) 業務の内容	以下に示す業務について適切に実施すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・工事発注にかかる補助業務 ・工事及び役務の履行に係る補助業務 ・関係機関との協議・調整に係る補助業務 ・役務、工事受注者又は外部から通知等を受けた場合は、速やかに発注者にその内容を正確に伝えること 	【適】 業務打合せ記録簿及び業務実施報告書による月ごとの実施業務内容を確認したところ、工事発注に係る業務、役務及び工事の履行に係る業務、関係機関との協議・調整に係る業務について、適切に実施されており、満足のいく成果物が提出されている。
(2) 監督員に対するアンケート調査結果	業務開始後、年に 2 回（9 月、2 月）、監督員に対して満足度についてアンケートを実施し、その結果の基準スコア（100 点満点中 75 点以上）を維持すること。	
	・主任技術者に依頼してから、依頼完了までに要した期間	【適】 令和 2 年度：平均 75.0 点
	・主任技術者の成果物に対する説明のわかりやすさ	【不適】 令和 2 年度：平均 70.0 点
	・主任技術者から受けた成果物の正確性	【適】 令和 2 年度：平均 75.0 点
	・主任技術者の対応（言葉遣い、親切さ、丁寧さ等）	【不適】 令和 2 年度：平均 70.0 点
（アンケート結果の詳細は別紙）		

3 実施経費の状況及び評価

(1) 実施経費

- ・市場化テスト実施前の契約金額（平成30年4月から令和2年3月まで）
124,800,000円（税抜）【落札率98.80%】…①
- ・市場化テスト実施後の契約金額（令和2年4月から令和4年3月まで）
97,000,000円（税抜）【落札率99.38%】…②
- ・業務量が減少したことによる減額分
▲30,924,000円（税抜）…③

(2) 経費削減効果

市場化テスト実施前と実施後の契約金額は、比較すると以下のとおり年間13,900,000円減少している。

$$\begin{aligned} & \textcircled{2} - \textcircled{1} \\ & = 97,000,000 \text{円} - 124,800,000 \text{円} \\ & = \text{▲}27,800,000 \text{円} \text{（単年度換算：▲}13,900,000 \text{円）} \end{aligned}$$

しかしながら、業務量が減少したことによる減額分を控除して比較した場合、以下のとおり、単年度換算で1,562,000円の3.3%増加となっている。

$$\begin{aligned} & (\textcircled{2} - \textcircled{3}) - \textcircled{1} \\ & = (97,000,000 \text{円} - \text{▲}30,924,000 \text{円}) - 124,800,000 \text{円} \\ & = 3,124,000 \text{円} \text{（単年度換算：}1,562,000 \text{円）} \end{aligned}$$

(3) 評価

従来事業から業務量が減少したことによる減額分を控除して比較した場合、年間1,562,000円(3.3%)増加となっており、経費削減の効果は認められなかった。

4 民間事業者からの改善提案による改善実施事項等
特になし。

5 全体的な評価

本事業は、市場化テストの対象事業として、令和2年4月から令和4年3月までを第1期として現在実施中である。これまでの業務全体を通した実施状況は以下のとおりである。

- ① 実施期間中、業務内容については適切に実施されたものと評価できるが、監督員に対するアンケート調査による満足度については2つの項目で基準を下回り、対象公共サービスの質の確保について一部課題が認められた。
- ② 従来経費から業務量が減少した事による減額分を控除して比較した場合、実施経費は年間1,562,000円(3.3%)増加していた。
- ③ 本事業の調達では、市場化テストに基づく実施状況に関する情報の開示に加え、業務概要説明資料の公開を行った。また、「入札時期が遅く人手が確保できない」と事業者へ実施したアンケート結果を受け、広く競争性を確保できるよう、公告時期を前倒しするなど工夫して取り組んだものの、結果的には一者応札となった。不参加理由についてヒアリングを行ったところ、「主任技術者及び技術員の経験に係る要件が厳しい」、「技術員の事前申請による人員確保が厳しい」等の回答があった。

6 今後の方針

本事業については、業務の内容は適切に実施されてはいるものの、競争性、経費削減の面で課題が残る結果となった。

次期事業においては、ヒアリング結果を踏まえ、要件緩和等の見直しを検討し、民間事業者の更なる参入促進を図るよう努め、市場化テストによる民間競争入札を継続して実施したい。

以上

発注者支援業務満足度調査

1. アンケート方法

業務開始後、年に2回（9月、2月）、監督員（2名）に対して満足度についてアンケートを実施する。アンケート項目は次の4項目である。

問1 主任技術者に依頼してから、依頼完了までに要した期間

問2 主任技術者の成果物に対する説明のわかりやすさ

問3 主任技術者から受けた成果物の正確性

問4 主任技術者の対応（言葉遣い、親切さ、丁寧さ等）

各項目ともそれぞれ「満足」（配点100点）、「ほぼ満足」（同80点）、「普通」（同60点）、「やや不満」（同40点）、「不満」（同0点）とする。

2. アンケート調査結果

アンケート対象者：監督員2名

アンケート回数：2回（R2.9、R3.2）

(1) 令和2年度 アンケート調査結果

		回答数					平均点
		満足 (100点)	ほぼ満足 (80点)	普通 (60点)	やや不満 (40点)	不満 (0点)	
問1	依頼してから完了までに要した期間	0	3	1	0	0	75.0点
問2	成果物に対する説明のわかりやすさ	0	2	2	0	0	70.0点
問3	成果物の正確性	0	3	1	0	0	75.0点
問4	主任技術者の対応	0	2	2	0	0	70.0点

(2) 回答の内訳

①令和2年度上期（R2.9）アンケート調査結果

		回答数					平均点
		満足 (100点)	ほぼ満足 (80点)	普通 (60点)	やや不満 (40点)	不満 (0点)	
問1	依頼してから完了までに要した期間	0	2	0	0	0	80.0点
問2	成果物に対する説明のわかりやすさ	0	2	0	0	0	80.0点
問3	成果物の正確性	0	2	0	0	0	80.0点
問4	主任技術者の対応	0	2	0	0	0	80.0点

②令和2年度下期（R3.2）アンケート調査結果

		回答数					平均点
		満足 (100点)	ほぼ満足 (80点)	普通 (60点)	やや不満 (40点)	不満 (0点)	
問1	依頼してから完了までに要した期間	0	1	1	0	0	70.0点
問2	成果物に対する説明のわかりやすさ	0	0	2	0	0	60.0点
問3	成果物の正確性	0	1	1	0	0	70.0点
問4	主任技術者の対応	0	0	2	0	0	60.0点